

別紙2

ラーケーションについて

王寺町では、未来につながる家庭での主体的な学び・体験的な学びを応援するために、「ラーケーション」を実施します。

「ラーケーション」とは

- 愛知県や茨城県、山口県、徳島県、別府市、日光市等がすでに取り組んでいます。愛知県の「休み方改革」プロジェクトの中で生まれた「ラーケーション」は、子どもが保護者等とともに、平日に、学校外（家庭や地域）で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる日として設定しています。
- 学校外での自主学習活動であるため、子どもは学校に登校しなくても欠席とはならず、「出席停止・忌引等」と同じ扱いとなります。
- 保護者等の休暇に合わせて届け出て、年に5日取ることができます。

ラーケーションの日 届け出の流れ

1 計画を立てる

保護者と子どもが一緒に、「ラーケーション」の計画を立てる。

計画すること

- ・活動する日
- ・活動する場所
- ・学ぶこと
- 等

＜留意事項＞

- ☐ 年に5日まで取ることができます。
 - ☐ 保護者等※と一緒に活動する必要があります。
 - ☐ 受けられない授業の内容は、家庭で自習をします。
 - ☐ 身近な地域にも「学びの場、学びの内容」はあります。必ずしも遠くに出かける必要はありません。
- ※保護者等とは、保護者が認める近親者（例えば、きょうだい、祖父母、叔父叔母伯父伯母等）

2 届け出る

学校に届け出る。

＜留意事項＞

- ☐ 事前の届け出が必要です。
- ☐ 「ラーケーション」を取得した日の給食の扱いについては、返金はいりません。
- ☐ 行事などの教育活動のため、「ラーケーションを取ることができない日」を設けていますので、各学校の行事等をご確認ください。

3 ラーケーション

子どもと保護者等と一緒に、体験や探究の学び・活動を行う。

4 振り返る

学んだことについて家庭で話し合ったり、次回の計画を考えたりする。

5 「ラーケーション」活動例

○自然観察とアウトドアアクティビティ:

自然散策: 公園や森林での散策やハイキングは、子どもたちにとって楽しく学びのある体験です。植物や動物を観察したり、自然の中で遊んだりすることで、科学的好奇心が刺激されます。

星空観察: 夜に星座を観察することは、天文学や宇宙に興味を持つきっかけになります。

○アートとクリエイティブ:

絵画や工作: 子どもたちは自分のアイデアを実現するために、絵を描いたり、工作をしたりすることが好きです。家庭でのアートプロジェクトは、想像力を刺激し、表現力を高めます。

写真撮影: カメラを持って外出し、風景や身の回りのものを撮影することで、視点を広げることができます。

○料理と食事:

料理体験: 子どもたちと一緒に料理をすることは、食材の知識や調理スキルを身につける良い機会です。シンプルなレシピから始めて、楽しみながら学びましょう。

ピクニック: 家族でピクニックを楽しむことは、食事だけでなく、自然や季節を感じる素敵な時間です。

○歴史と文化:

博物館や史跡巡り: 地域の歴史や文化に触れることは、子どもたちの教養を深める一助になります。博物館や史跡を訪れて学びましょう。

これらの活動は、子どもたちの興味や好奇心に合わせて選ぶことが大切です。保護者と一緒に計画を立て、楽しい「ラーケーション」を過ごしてください。

6 「ラーケーション」Q&A

Q1 王寺町は、どうして「ラーケーション」を実施するのですか。

A1 総務省の調べでは、土曜日に働いている方が約 45%、日曜日に働いている方が約 30%おられ、休みの日に子どもと一緒に過ごすことが難しい家庭が少なくありません。そうした家庭でも、平日の保護者が休みの日に、子どもと一緒に学び、活動することができる日として、「ラーケーション」を実施しようと考えました。

Q2 「ラーケーション」の計画は、どのように立てればよいですか。

A2 ラーケーションの計画を立てるときは、子どもが学校で学習していることなども聞きながら、子どもが「もっと知りたいと思っていること」「体験してみたいこと」などについて話し合ってください。その中で「学ぶ場所」や「学ぶこと」を決めていってはいかがですか。遠くへ行かなくても、身近な場所にも「学ぶ場所」や「学ぶこと」はたくさんあります。

Q3 「ラーケーション」は連続して取ることはできますか。また、残った日数は、次の年度に繰り越すことはできますか。

A3 「ラーケーション」を連続して取ることはできますが、残った日数を次の年度に繰り越すことはできません。

Q4 急遽休みが取れることになった場合、前日に「ラーケーション」を届け出ることはできますか。

A4 前日でも、「ラーケーション」を届け出ることは可能ですが、しっかりとした計画を立てて学習活動を行っていただきたいので、早めの届け出をしてください。

Q5 「ラーケーション」として、どこかへ旅行に出かけてもよいのですか。

A5 ラーケーションは、ラーニング（学び）＋バケーション（休暇）ですので、「学び」の要素が必要です。様々な場面に学びの要素はあります。そのことを考慮していただき、旅行に出かけていただいて結構です。ただ、大切な授業の代わりとなる活動ですので、家庭でよく話し合って計画を立ててください。なお、どこかへ出かけなくても、ラーケーションはできます。

Q6 どのような活動であればラーケーションになるのですか。

A6 ラーケーションは、(1)保護者等と一緒にいる、(2)体験や探究の学び・活動です。そのため、(1)(2)を満たす活動がラーケーションということになります。学校から配付されたラーケーションのお知らせなどを参考にして、子どもと話し合い、「何を学ぶか」をはっきりさせてください。身近な地域にも、「学ぶ場所」や「学ぶこと」はたくさんあります。

Q7 「ラーケーション」を実施することで、学習が遅れてしまうのが心配です。どうすればよいでしょうか。

A7 学校では、「ラーケーション」を取得した子どもには、病気等による欠席と同様の対応をします。授業で使用したプリントなどがある場合には、学校から後日お渡しすることができますので、家庭で自習により補っていただくようお願いします。

Q8 「ラーケーション」が導入されることで、学校行事等に子どもがそろわなくて困ることになりませんか。

A8 学校が「全員に出席してほしい」と考える場合には、「ラーケーションを取るができない日」を設定します。その日には、「ラーケーション」を実施しないようにしてください。

Q9 ラーケーションを実施している自治体はどこですか

「ラーケーション」制度が導入されている自治体が増えています。愛知県や茨城県、山口県、徳島県、別府市、日光市等が取り組んでいます。